一年を振り返って

会長　鈴木 恵次

伝統ある、熱海クラブの会長を拝命して、早一年経ちました。一年間はとっても早かった感じがします。何もできない、行き当たりバッタリの私を支えてくれた、深澤書記をはじめ、役員・会員の皆様ありがとうございました。「新しい事は何もしないよ！！ただ引き継ぐだけ、引き渡すだけだよ。」と言い続けてきました。

駅伝のタスキ渡し、リレーのバトンタッチの、日本得意の１００×４リレーは、４人それぞれの記録はたいした事はありません。でも、バトンタッチの技術は世界一です。そしてオリンピックではメダルを取ってしまいました。私の会長主題である『繋げよう！次世代にＹ’ｓの心』出来ましたでしょうか？私なりに、少しはつながったんでは？と思っています。

さて次世代の会長候補の皆様、大丈夫です。不良少年成り上がりの私に出来ました。一年間はアッという間です。会長に指名されたら、ぜひ頑張って引き受けてください。永々と次に繋がる様にお願い申し上げます。

皆様本当にありがとうございました。

東日本区大会　表彰

【個人賞】
- ① 奈良傳賞　森 重男
- ② 年賀切手次集 貢献賞　安田 克己（151枚）
- ③ EMC−M 新入会員獲得賞優秀個人賞　鈴木 恵次（3名）

【クラブ賞】
- ④ CS献金 達成賞
- ⑤ ASF献金 達成賞
- ⑥ FF献金 達成賞
- ⑦ EMC−M 優秀賞
- ⑧ EMC−M 出席率 最優秀賞100%
- ⑨ BF部門 銅賞 達成賞
- ⑩ TOF部門 銅賞 達成賞
- ⑪ RBM部門 銅賞 達成賞
- ⑫ ブリテン部門 銅賞 達成賞
- ⑬ グランドスラムF賞（献金事業４種達成クラブ）
- ⑭ ロースター広告 協力賞

第20回東日本区大会に参加して

プロドラ委員長　松永 正考

栗本次期理事率いる理事役員先発組を追いかけ、後発組10名は緒方観光バスのマイクロバスに乗りプロドライバー深澤Ｙ’ｓの運転で予定時刻8時20分に出発しました。

小田原厚木道路に入ったあたりから早くもお腹が空いてきたメンバー達は、川越といえば芋と鰻が名物！という話になりましたが、食べたいのは芋より鰻！と満場一致の意見のもと鰻屋を探しました。他クラブの方も同じ事を考えているのか土曜日だからか、なかなか予約が取れず10件以上の鰻屋に電話を掛け、やっと腹ペコ熱海ワイズを受け入れてくれる鰻屋「うな清」を見つけました。リーズナブルな価格の上脂の乗ったおいしい鰻でした。全員お腹を満たし,いざ会場へ。

川越でおそらく一番大きなホール、ウエスタ川越が会場です。（多くの方がウエスタン川越と言い間違えていましたが）

晩餐会ではジャズの生演奏とともに他クラブの方との交流を各々楽しみました。二次会の熱海ナイトは前日に鈴木会長がリサーチ済みだったため大変スムーズな運びとなりました。流石、鈴木会長！メンバー大満足の夜となりました。

翌日になり、各種表彰に熱海クラブを代表して鈴木会長、また、奈良傳賞に森Ｙ’ｓが表彰されました。熱海クラブのメンバーが何度も表彰台に立つ、大変誇らしい表彰式となりました。

さぁいよいよ利根川理事から栗本次期理事への引継式と所信表明です。栗本次期理事は恵理子メネットとともにご挨拶され、所信表明ではこれからのワイズの方針について、凛とした姿で堂々とスピーチされていました。既にかなりのリーダーシップを発揮され、東日本区の各クラブに対する志がひしひしと伝わってきました。熱海クラブとしては栗本理事に恥を欠かせないように、山崎次期会長を中心に一致団結し全力で協力しなければならない、と改めて痛感しました。

無事、閉会式を終えたところで、気付けばまた腹ペコの熱海ワイズは、また満場一致で鰻が食べたい…ということで、腹ペコ熱海ワイズを受け入れてくれるのは鰻屋「うな清」！二日連続の16名の急な予約にも関わらず快く受け入れてもらい、沼津クラブ渡辺実帆会長も加わり、皆で鰻重を頂きました。

満腹の熱海ワイズは小江戸観光組と直帰組に別れ、それぞれ帰路に着きました。　緒方ワイズ、バスのご提供ありがとうございました。深澤Ｙ’ｓ、往復の運転手とホテルの手配ご苦労様でした。

東日本区次期理事の栗本Ｙ’ｓ、次期役員の皆さん、お疲れ様でした。

沢山の方のご尽力があり、第20回東日本区大会は大成功に終えることができました。

故竹内敏朗ワイズお別れ会

Takタックさん　どうぞやすらかに…　森　重男

去る２月２４日９１才でご逝去された、竹内理事長のお別れの会をＹＭＣＡセンターで執り行いました。

５月２７日は前日の雨天がうそのように五月晴れの明るい日差しが眩しく輝いていました。

午前は2016年度総会を行い、１３時３０分からお別れの会を催した、遠くは九州や北海道から京都、名古屋から東日本区の各地から竹内さんと親交のあったワイズメンの方々が総勢141名集いました。

長谷川等Ｙ’ｓの司会で進行し利根川理事をはじめ古く親交のあった方々が挨拶とそれぞれの想い出を懐かしく語りあった。私も開会の挨拶のあと思い出を沢山の中から二つだけを述べました。

竹内理事長がハンドルを握って往復１４００ｋｍを走破し各地のＹＭＣＡを見学しながら一泊旅行の移動理事会、各地での同行のメンバーと体験した想い出。一望閣のマイクロバスにメネットもまじえて子供の遠足のような毎年の楽しい行事でありました。体験した理事運営委員の方々も同感のことと存じます。

古くは１９８０年代にカナダカルガリー YMCA との交換学生事業です。２０名前後の生徒を派遣し又翌年には受け入れを行った、カナダの中高生を家庭に迎えメンバー宅でのホームステイ、家族はテンテコ舞いをしながらも楽しい思い出の多い素晴らしい事業であった。１５回位交互に行いましたが、これぞ竹内さんがいなくては出来ない事業でありました。

生涯をワイズ・ＹＭＣＡの活動で多くのメンバーに沢山の想い出を残して行かれた竹内理事長の功績に改めて感動を覚えた次第です。

青木義美Ｙ’ｓ・・・このお別れ会の準備計画を青木義美Ｙ’ｓがプランを立てて率先して動いて下さった、会計や他の準備のメンバーの協力は当然多大な物が有りましたが彼の格別なプロデュース能力と実行力は竹内理事長に良く似ているといつも感じています。

海外旅行や船旅の大好きなところ、可愛いいメネットを上手に使い大事にするところ彼の独壇場です・・・

これからも熱海 YMCA・熱海クラブは彼のアイデアと全メンバーの意欲で活動すればまだまだ伸びしろが有ると思います、新年度は栗本理事のもと熱海クラブここに有りです。

お別れ会を済ませて改めて皆様のご協力に心から感謝し今後のご協力を宜しくお願い致します。

熱海ＹＭＣＡ理事長に就任して

森　重男

去る４月６日臨時総会、理事会において熱海ＹＭＣＡ理事長に推挙され新たに就任致しました。

竹内理事長の後任には予定していた方が有りましたがご都合ですぐには無理とのことで急きょ検討した結果であります。併せて副理事長に鈴木道夫理事、長谷川　等理事の２名が就任しました。

国際感覚やスケールの違いはどうにも及ばぬ身で有りますが、私は永年理事総務担当をして参りましたので、諸般の内容には精通しているつもりです。及ばずながら努力して参りますので宜しくお願い致します。

熱海ワイズメンズクラブの10周年記念で誕生したこの熱海ＹＭＣＡはワイズメンが造りワイズの先輩たちが育ててきたものです。ワイズの力がイコール熱海YMCAの能力で有ります。

富士山部９クラブのひとり一人がワイズを愛するようにYMCA を通じて青少年健全育成の一助になるよう再度認識を持ち各クラブの事業に会員増強に熱を入れて精進して戴きたいと存じます。

新入会員歓迎会

西島　智仁

5月16日ラウンジから熱海サンビーチ、街の夜景一望の「月の栖 熱海聚楽ホテル」にて熱海クラブ２０１６年度新入会員歓迎会が行われました。今回は２７名が参加してくれました。池田親睦委員長はうれしそうでした。会長挨拶では、今回入会された３名に対し「大歓迎する、早くクラブに親しんでくれ」と話されました。（３名とも会長の推薦です。）

二見直前会長の乾杯の後、歓談、おいしいすき焼き、キンメの煮付け等々をいただきました。その後、出席者から自己紹介が行われました。

栗本Ｙ’ｓは、次期東日本区理事として、EMCを主題にします皆様の協力をと、三井Ｙ’ｓは療養会員を卒業しました。また大学の教授から名誉教授になった。楽しい会も山田副会長の閉会の元で二次会へと移りました。

今回差し入れくださった鈴木会長、二見直前会長、皆様ありがとうございました。